

# 営農技術情報

—畑作（馬鈴しょ③）—

令和 3年 7月 7日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524  
JA道北なよろ TEL01655-3-2521  
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

## 疫病の発生に注意しましょう

### 1 生育経過

植付作業に幅があったため、生育のほ場間差が大きいです。

表1 生育状況(6月15日現在、作況ほ)

|    | 植付始   | 植付期   | 植付終  | 萌芽期   | 主茎長<br>(cm) | 茎数<br>(本/株) |
|----|-------|-------|------|-------|-------------|-------------|
| 本年 | 5/ 7  | 5/22  | 6/ 9 | 6/12  | 2.1         | 1.2         |
| 平年 | 5/ 8  | 5/15  | 5/27 | 6/ 5  | 4.6         | 2.9         |
| 遅速 | 早 1 日 | 遅 7 日 | 遅13日 | 遅 7 日 | -2.5        | -1.7        |

### 2 病虫害防除

#### (1) FLABSによる疫病発生予察（萌芽日を5/30とした場合）

萌芽の早かったほ場では、危険到達日に達しています。ほ場をよく観察し、疫病の発生に注意しましょう。

表2 アメダス地点別の疫病発生予察

| アメダス<br>地点 | 区分      | 萌芽日  | 危険到達日 | 予測初発日 | 70%の確率で<br>予想される初発期間 |
|------------|---------|------|-------|-------|----------------------|
| 名寄         | 本年      | 5/30 | 6/30  | 7/15  | 7/ 8~7/22            |
|            | 平年値     | 6/ 5 | 6/18  | 7/ 6  | 7/ 9~7/23            |
|            | 直近10年平均 | 6/ 8 | 7/ 1  | 7/16  | 7/ 9~7/23            |
| 美深         | 本年      | 5/30 | 6/26  | 7/12  | 7/ 5~7/19            |
|            | 平年値     | 6/ 5 | 6/18  | 7/ 6  | 6/29~7/13            |
|            | 直近10年平均 | 6/ 8 | 7/ 1  | 7/16  | 7/ 9~7/23            |

※本年の萌芽日は萌芽始、その他の萌芽日は地域の萌芽期。

※初発期間は、予測初発日の前後7日間としている。

#### (2) 疫病の防除

- ・病原菌の活動は10℃超えると始まり、最適温度は18~20℃です
- ・さらに、降雨により多湿になると急速にまん延するため、発生を確認してからの防除では手遅れになります
- ・茎葉の成長段階では、浸透移行性のある薬剤を使用しましょう
- ・初発を確認した場合や感染が疑われる場合は、治療効果のある薬剤で防除しましょう
- ・降雨によりほ場に入れない状況が予想される場合は、ダブルインターバル効果（14日間隔）のある薬剤を使用しましょう
- ・生育後半には、塊茎腐敗に効果のある薬剤を使用しましょう
- ・なお、空中散布用農薬については、農林水産省のホームページでご確認ください  
(ドローンで使用可能な農薬：<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/nouyaku.html>)

表3 疫病の防除薬剤例（JA道北なよろ農作物施肥・病害虫・雑草防除ガイド掲載薬剤）

| 薬剤名           | 使用倍率       | 塊茎腐敗 | 夏疫病  | 使用時期 | 使用回数 | 浸透性 | 効果 |
|---------------|------------|------|------|------|------|-----|----|
| ゾーベックエンカンティア  | 2000倍      | ×    | ×    | 14日前 | 2    | ●○  | 予治 |
| リライアブルフロアブル   | 800～1000倍  | ○    | ×    | 7日前  | 3    | ○○  | 予治 |
|               | w 800倍     | ×    | ×    |      |      |     |    |
| ランマンフロアブル     | 1000～2000倍 | 1500 | ×    | 7日前  | 4    | ●   | 予  |
|               | w 1000倍    | ×    | ×    |      |      |     |    |
| レーバスフロアブル     | 1500倍      | ○    | ×    | 7日前  | 2    | ●   | 予治 |
|               | w 1500倍    | ×    | ×    |      |      |     |    |
| プロポーズ顆粒水和剤    | 750～1000倍  | ○    | 1000 | 7日前  | 5    | ○×  | 予治 |
|               | w 750倍     | ×    | ×    |      |      |     |    |
| フロンサイドSC      | 1000～2000倍 | 1000 | 2000 | 7日前  | 4    | ×   | 予  |
|               | w 1500倍    | ×    | ×    |      |      |     |    |
| クプロシールド       | 1000倍      | ×    | ×    | —    | —    | ×   | 予  |
| ホライズンドライフロアブル | 1000～2500倍 | ×    | 1500 | 14日前 | 4    | ○●  | 予治 |

※使用倍率は R3 北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドの推奨倍率、wはダブルインターバルで登録のある倍率。

※塊茎腐敗及び夏疫病の数字は、各病害の登録倍率。

※浸透性及び効果は、R3 くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイドより。

※浸透性は、○浸透移行性が認められる、●浸達性のみ認められる、×認められない。

※ファモキサドンを含む農薬の総使用回数は4回以内：ゾーベックエンカンティア、ホライズン。

※プロポーズとレーバスは同系統（酸アミド(GAA)）の成分を含むため、連用は避ける。

### (3) 軟腐病の防除

- ・高温多湿条件が続くと多発、特に窒素過多や倒伏により発生しやすくなります
- ・下葉（地際）の発病状況に注意し、初期防除の徹底を心がけましょう
- ・生育量に応じて散布水量を調節しましょう

表4 軟腐病の防除薬剤例（JA道北なよろ農作物施肥・病害虫・雑草防除ガイド掲載薬剤）

| 薬剤名      | 成分名                  | 使用倍率     | 使用時期 | 使用回数 | 浸透性 | 効果 |
|----------|----------------------|----------|------|------|-----|----|
| スターナ水和剤  | オキシリニック酸             | 1000倍    | 7日前  | 5    | △   | 予治 |
| カセット水和剤  | カスガマイシン<br>オキシリニック酸  | 1000倍    | 7日前  | 3    | ○△  | 予治 |
| カスミンボルドー | カスガマイシン<br>銅（塩基性塩化銅） | 500～800倍 | 7日前  | 3    | ○×  | 予治 |
| クプロシールド  | 銅（塩基性硫酸銅）            | 1000倍    | —    | —    | ×   | 予  |

※使用倍率は R3 北海道農作物病害虫・雑草防除ガイドの推奨倍率。

※浸透性及び効果は、R3 くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイドより。

※浸透性：○浸透移行性が認められる、●浸達性のみ認められる、

△浸透移行性が認められるが強くない、×認められない。

※オキシリニック酸を含む農薬の総使用回数は5回以内：スターナ、カセット。

※カスガマイシンを含む農薬の総使用回数は4回以内：カセット、カスミンボルドー。

**◎ 農薬は使用基準を守り、周囲への飛散に注意しましょう ◎**